

令和4年度第1回交野市図書館協議会 議事録

1. 日 時 令和4年6月28日(木) 午後1時30分から2時25分

2. 場 所 交野市立青年の家2階 会議室

3. 出席者

(1) 委 員 木下会長、中嶋副会長、足立委員、今堀委員、良委員、神原委員、
栗原委員、島田委員、竹田委員、恒松委員、西岡委員、松井委員、
山岡委員

(欠席：有山委員、向井委員)

(2) 事務局 北田教育長、川村館長、福田課長、原田課長代理

(3) 傍聴者 なし

4. 次 第

(1) 開会

(2) 辞令書交付

(3) 令和3年度事業報告について

(4) 令和4年度事業計画について

(5) その他

(6) 閉会

5. 概 要

(1) 開会

(2) 辞令書交付

(3) 教育長挨拶

本日は暑い中、お集まりいただき感謝する。

昨年度は、一昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大により翻弄された一年であったが、図書館では、可能な範囲でのサービスの継続に努めてきた。

図書館は議会からの関心もあり、6月議会での質問に、「コロナ禍とよばれる状況で貸出冊数の減少を想定していたが、感染防止対策を十分取り貸出方法の工夫を行いながら可能な限り開館するよう努めたことで、貸出冊数は逆に増加した。このようなことから図書館ニーズは高いものとする。」と答えている。

青年の家は、交野みらい小学校の登下校の休憩場所となっており、下校途中の子どもが入口のまちの図書館で本を探している姿を見ると、活字離れと言われるが、

まだまだ本の持つ重要性は高いと思う。このように図書館ニーズに応えるため、利用者みなさまの安心、安全を第一にサービスに努めたい。

今年度は第4次交野市子ども読書活動推進計画に基づき新しいサービスを展開したいと考えている。それには、ボランティアや地域みなさま、学校や関係各所との連携が不可欠となるため、みなさまのお力添えをいただきながら、交野の未来を担う子どもたちへの読書推進、魅力ある図書館づくりに努めたいと考えている。本日は、みなさまの忌憚のないご意見をお聞かせくださるようお願いする。

(教育長退席)

(4) 配布資料の確認

交野市立図書館条例

交野市図書館協議会委員名簿

交野市立図書館令和3年度事業報告

交野市立図書館令和4年度事業計画

第4次交野市子ども読書活動推進計画

会 長： 梅雨がこんなに短かったというのは記憶にないが、暑いなか出席いただき感謝する。

(5) 委員出席状況報告

事務局： 本日の委員出席状況について報告する。

委員15名中13名の出席で、交野市立図書館条例第4条第6項により会議は成立。

会 長： 次第の3、令和3年度事業報告、そして次第4の令和4年度事業計画を続けて説明を。

(6) 令和3年度事業報告について

事務局： 図書館の歩み2p、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から4月25日より臨時休館となったが、対策を講じて5月12日より開館。

コロナ対策として5月には倉治図書館・星田会館図書室にサーモグラフィを設置、他にも8月に倉治図書館のトイレの手洗いを自動水栓、10月にトイレ照明をセンサースイッチに改修した。

7月にはコンピュータシステムを更新し、ホームページをリニューアルした。

1 1 月には倉治図書館外壁改修等工事を行い、3月に第4次交野市子ども読書活動推進計画を策定した。

3 p 職員配置については、3月末現在となっているが、4月1日付で人事異動があり、体制の変更があった。

4 p 図書館の推移について、令和3年度の詳細は6 p以降に記載しているため、前年度との比較を説明する。個人貸出冊数は、前年度より38,000冊程増加しており、特に星田会館図書室が一般書・児童書ともに増加している。団体貸出についても、前年度と比べ3,000冊程の増加となっている。蔵書冊数は235,216冊で内訳が下に出ているが、青年の家図書室の児童書の減少は、内容の古い本や傷みの激しい本を処分して見やすい書架作りのためにレイアウト変更をした結果である。購入による受入冊数については、前年度に引き続きレファレンスツールと言われる辞書、事典のような高額な本の入れ替えを行ったため、若干少なめとなっている。予約冊数・Web予約冊数については年々増加しており、平成29年度と比べると、予約冊数は1.5倍、Web予約冊数は1.9倍となっている。予約冊数に占めるWeb予約冊数の割合も年々増加しており、平成29年度は58%だったものが、平成30年度は61%、令和元年度は64%、令和2年度は71%、令和3年度74%となった。

5 p 図書館の継続行事参加者等の推移について、コロナの影響で臨時休館やイベント中止となったが、星田会館図書室ではなし会を開始することができた。

6 p 図書館の利用状況等は、3 p 推移の数値の詳細となっている。

7 p 録音図書の借受点数は、73点。前年度11点に比べて大幅な増加となった。(5) 広域事業については、他市は集計中のため、交野市分のみの数値となっている。他市の方が交野市で本を借りられたのが11,248冊、交野市の図書館を利用された他市の方が289人となっている。

8 p 図書館未所蔵の資料を図書館が相互に借受けて利用者に提供する相互貸借については、借受冊数が4,571冊、貸出冊数が1,232冊となっており、借受冊数は増加しているが、貸出冊数は少し減少している。

自動車文庫の利用については、ステーションにより増減はあるが、利用者数1,758人、貸出冊数9,024冊と全体的には増加している。

10 p は統計指標となっている。

11 p 講座等の開催について、令和3年度はほとんどの学校での読み聞かせ活動が中止となるなど、ボランティアさんにとってはコロナ禍で活動が制限された年となった。そこで、ボランティアさんのモチベーション・スキルの維持向上を図るための講座を開催した。

12 p リサイクル・フェアについては、コロナ対策として定員制・事前予約制としたことで、コロナ前に比べると譲与冊数等減少しているが、申込み時には長蛇の

列ができるほど人気のイベントとなっている。

高齢者・視覚障がい者サービスについては、大活字図書コーナーの充実、LLブックの購入に努めた。LLブックというのは、誰もが読書を楽しめるように工夫して作られたやさしく読みやすい本となっている。絵本の形態をとっているが、子どもだけでなく、認知症のある高齢者の方や知的障害のある大人の方にも利用していただけるものである。

13p 刊行物について、「いっしょによんで～2歳から楽しめる絵本リスト」は、第2・3次の読書計画に基づく事業であり、リニューアルしたホームページに同リストを掲載することで、冊子としての作成・配布は終了としたため、削除願いたい。

ブックスタートについて、令和2年度はコロナ対策で個別健診となっていたが、令和3年度5月から集団健診が再開された。実施回数11回で444冊の絵本を配布したほか、市内各図書施設での前年度未配布者への配布も引き続き行った。

14p その他の行事として、図書館なぞときイベント「ひゃっか王からの挑戦状」を夏休みに合わせて実施。期間内に各自で参加する非接触型のイベントとして初めての試みとなった。また、交野市制50周年の記念事業として郷土資料特設コーナーを設置し、かたのクイズを実施して回答者におりひめちゃんファイルをプレゼントした。

団体貸出冊数の推移について、全体的に前年度に比べ増えているが、特に市立小学校への貸出が12,390冊と前年度より増えている。これは各校に学びあいサポーターが配属され、学校巡回便を活用した調べ学習や学級文庫用の貸出が増加したことが影響している。

15p 認定こども園等への自動車文庫乗り入れについて、コロナの影響で申し込みを見送られる園もあった一方で新規の依頼もあった。令和2年度は9園に伺い665冊の貸出を行ったが、令和3年度は10園に712冊を貸し出した。

関係ボランティア団体等の活動と連携について、地域家庭文庫さんは、市制施行前から活動されており、ブックスタートへも協力いただき、地域家庭文庫の周知活動を行っている。令和3年度の貸出冊数については、7月にアンケートを予定しているため、調査中となっている。また、文庫主催で実施したストーリーテリング研修会はコロナの関係で6回予定のうち3回が中止となったが、図書館職員も参加させていただいた。

おはなしぐるーぶ KIRARA さんは、リサイクル・フェア他図書館イベントに協力いただいている。

朗読グループあいさんには、図書館から依頼した26タイトルのデージー図書を作製していただいた。青年の家図書室で対面朗読を行っていただいているが、3年度は希望者がなかったため、0回となっている。

学校図書館ボランティアさんについては、コロナのため活動中止となっていた

が、今年度は各校徐々に活動を再開されている。

よみかせサポーター養成講座受講生がグループを結成し、図書館や市内小学校でのよみかせのボランティアとして活動されている。

17p前計画から引き続き実施している事業について記載している。ぬいぐるみおとまり会については、コロナのため中止となったが、一日図書館員については、時間を短縮し、フェイスガードを着用するなど対策をとって実施することができた。

図書館協議会については、3回開催、その中で第4次読書活動推進計画について委員の皆さまから意見をいただいた。計画については、19pに記載している。

事業報告については以上となる。

(7) 令和4年度事業計画について

事務局： 7つの項目をあげている。

1. 資料の収集・提供について、利用者のニーズに応えることができるよう資料の収集・提供に努める。

2. 図書館情報ネットワークの充実について、昨年度リニューアルしたホームページの新機能を含むインターネットサービスの利用促進に努める。具体的には、秋の読書週間の時期に合わせて市民向けのホームページ活用講座を予定しており、My本棚や読書マラソンといった新機能のPRにも努める。

3. 図書館利用窓口の充実について、星田会館図書室の利用者数、貸出冊数の伸び率が高いため、人員体制の強化など利用者のニーズに応える対策を図る。また、自動車文庫の利用促進のため、PRに努める。

4. 子どもの読書活動推進について、第4次交野市子ども読書活動推進計画に基づき、次のような取組みを行う。

①子どもが集う場所での児童書の充実や、乳幼児連れでも気兼ねなく図書館を利用してもらえる赤ちゃんタイムなど新規事業の実施準備を行う。

②コロナ禍におけるイベントの実施方法について、引き続き検討を行う。

③学校巡回による団体貸出は年々利用が増加しており、学校とも連携して充実に努める。

④読書に障がいのある子どもへの支援としての資料整備に努める。ここでいう「読書に障がいがある子ども」というのは、身体的な障がいや発達障がいだけでなく、近年増加している外国にルーツをもつ子どもを含んでおり、そういった子どもたちが読書を楽しめるようLLブックや外国語絵本等の資料整備を行う。また、学校から「自分と違う友達について、子どもたちが理解を深めるための本」といった依頼も増加しており、多様性、異文化理解といった観点からも資料収集に努める。

5. ボランティアとの協働については、引き続きボランティアグループの活動を支援し、連携・協働を図る。

6. まちの図書館化事業については、市内23か所の「まちの図書館」の本の補充や入替えを行い、地域の読書活動とコミュニケーションの推進を図る。

7. 図書館・図書室の運営について、「交野市立図書館運営方針」に基づき効率的な図書館運営に努める。

事業計画の説明は以上となる。

会 長： 教育長のあいさつで、議会でも貸出冊数の増加の説明をしたとあったが、今の説明の中でも星田会館図書室の利用が増えているという説明があった。報告、計画について意見を。

読書計画の新規事業の中で、赤ちゃんタイムとあったが補足説明をお願いします。

事務局： アンケート調査において、「小さい子どもが騒ぐので図書館に行きづらい」という声があったので、乳幼児を連れた保護者が気兼ねなく来館してもらうための時間帯を設定したいと考えている。一般の利用者にも周知したうえで実施したい。

会 長： 例えば金曜日の午前中とか、その時に他の利用者の利用を妨げるものではなく、その時間帯は図書館が静かではないということをわかってもらう。他の自治体でも実施しており好評のよう。

ボランティアの協力がなければ、ブックスタートやイベントの開催は難しいという説明があったが、日頃感じていることなどあれば発言を。

委 員： 6 pに利用状況があるが、年齢別がわかればいいのかと思う。全体的に子ども中心と読み取れるが、高齢者に対しても、認知症予防といったようなことも大事かと思う。

事務局： 年齢別の統計も出せるので、次年度検討したい。

会 長： 高齢者に対しての事業を実施している図書館もあるが、交野市では高齢者向けのニーズとか、なされている事業などはあるか。

事務局： こども向けのイベントは多い。大人向けといえば、リサイクル・フェアの他、毎月テーマ展示を行っている。

会 長： テーマ展示は様々な年代の方を対象にされていて、12 pに記載がある。

委 員： 17 pの協議会委員名簿が3年度のものであれば、訂正をお願いしたい。

事務局： 訂正する。

会 長： 訂正の依頼があったが他に何か。

委 員： 16 p (3) コロナのこともあり、対面朗読は青年の家図書室では行っていなかったが、他の場所では実施していた。

会 長： 青年の家図書室ではなく、他の場所で対面朗読を行っていたという報告だった。府立図書館などZoomで行っているところもある。ニーズも高いと聞いている。ウィズコロナというのか、日常に戻ることを願って図書館活動を進めていただきたいと思う。

委 員： 文庫活動も来年で50年となる。図書館が支えてくれたおかげだと思っている。先日、倉治図書館を利用した方に文庫を紹介してくれ、その方が文庫に来てくれた。2019年から実施している講座参加者が、コロナ禍でも継続して参加してくれている。協働の大切さを感じる。

人が大事と毎回言わせてもらうが、図書館職員、学校司書、学びあいサポーターなど、直接かかわる人の適正配置を前向きに考えてほしい。

本の質を大事にしてほしい。まちの図書館にも子どもに出会ってほしい本を置いてほしい。それを紹介してくれる人を置いてほしい。資料の面と人の面をお願いしたい。

会 長： ボランティアとの協働、学校との連携にしても、司書制度が崩れていないということ。ここが維持されていることが大切だと思う。

以上で本日予定していた案件は終わったが、他に何かないか。

他にないようなので、以上をもって令和4年度第1回交野市図書館協議会を終了する。

館長挨拶： 最近はコロナの新規感染者数も少し落ち着いてきているよう。

図書館でも、イベントの実施方法について考えながら、第4次の読書計画に基づく新規事業が早い時期に実施できるよう準備を進めていきたいと思うので、委員皆様のご協力をお願いしたい。